

# 鹿児島大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00

場所:鹿児島大学 総合教育研究棟102講義室

※ 平成28年度 第8回目

平成29年2月  
鹿児島市 市民協働課

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	鹿児島大学 女性	<p>① 今の若者は結婚願望が低いと言われる中、鹿児島市が今後も発展していくためには結婚する人を増やす取り組みの必要があると思う。</p> <p>そのため、出会いの機会を増やすために、社会人サークルや賛同企業の実行委員会の運営により文化祭や運動会といったイベントを開くことが有効と思う。</p> <p>市には、そのきっかけづくりをしてもらいたい、どのようにお考えか。</p>	<p>① 結婚支援に関するご提案ですが、本市においても結婚支援は、少子化に伴う人口減少に対応するための重要な対策だと考えており、昨年から特に力を入れているところです。</p> <p>少子化の流れに歯止めをかけるには、若い方々が、安心して結婚し、子育てしやすい環境を整える必要がありますので、本市では、昨年度策定した「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、基本目標の一つに「結婚・出産・子育ての希望を『かなえる』』ということ掲げています。</p> <p>現状としては、若い方々の多くが、いずれは結婚したいと考えているようですが、「経済的な問題」や「異性と知り合う機会が少ない」といった理由で、未婚・晩婚化が進んでいるようでありまます。</p> <p>そのようなことから、本市においては、昨年9月に市内の41事業所にご協力いただき、「企業対抗運動会」を鹿児島アリーナで開催しました。この運動会には、500人以上の方が参加され、大変好評だったと聞いており、きっかけづくりができたのではないかと考えています。</p> <p>また、「文化祭」を新たにご提案いただきましたが、文化系の趣味を持っている方も多く、大きな効果があるのではないかと思いますので、参考にさせていただきたいと思ひます。</p> <p>やはり、出会いの場を多く作っていくことが、少子化対策の一つになるのではと思ひますので、今後も、このような出会いの場を作ることを含め、様々な対策に取り組んでいきたいと思ひます。</p> <p>皆さんも県内に残って頂き、社会人になったらぜひ参加していただきたいと思ひます。</p>	健康福祉局	市長回答のとおり
2	鹿児島大学 女性	<p>② 市電のレトロ電車の認知度が低く利用者が少ないこと、また若者の減少や人口流出などの現状を改善するために、レトロ電車を利用した婚活イベントを行うてはどうだろうか。</p> <p>男女で乗り合わせて、土日運行しているレトロ電車鹿児島市内を回り、遠足のような感覚で交流を促す。</p> <p>そうすると、参加者に鹿児島の自然や風景をゆっくり堪能するとともに鹿児島の魅力を再発見してもらい男女が知り合うきっかけになるのではないか。</p>	<p>② 観光レトロ電車での婚活イベントをご提案いただきましたが、現在、レトロ電車につきましては、土日・祝日の観光電車のほか、貸切電車として運行しており、多くの方々に、イベント等で活用していただいています。</p> <p>そのレトロ電車を活用しての婚活イベントということですが、ワクワクしながら、また、かごしまの街並みなどを見ながら、リラックスして話ができる機会になるのではないかと思います。また、その中で鹿児島の歴史や街並みのことについて、会話をすることで、素敵なカップルができればいいなと考えています。</p> <p>ご提案につきましては、交通局へ伝えたいと思ひます。</p>	健康福祉局 交通局	<p>【健康福祉局】 市長回答のとおり</p> <p>【交通局】 観光レトロ電車については、認知度向上のための取組として、まち歩きと組み合わせた乗車イベントや、効果的な広報手段などを検討しているところです。</p> <p>ご提案のイベントにつきましては、関係部局や民間事業者等に、貸切電車を活用したイベントのひとつとして実施を呼びかけてまいります。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	鹿児島大学 女性	<p>③ 市の広報紙には、イベントやお知らせなどが分かりやすく掲載されていて、非常に詳しい内容になっていると感じた。私は、このような素晴らしい広報紙をもっと多くの人、特に若い人に見てほしいと考えているが、画面の小さいスマートフォンでは見づらかったりするので、もう少し見やすいように工夫はできないだろうか。</p> <p>また、若者に市民のひろばを読んでもらうために、若者向け用の「市民のひろば」を別冊として作成はできないだろうか。</p>	<p>③ 市民のひろばは、市内全世帯に、鹿児島市の様々な情報を掲載して配布しています。また、市ホームページでは、そのまま見ることができるようにしておりますが、その内容を別途、スマートフォン用に作り直すとなると、時間やコストを要し、費用対効果の面などから、現時点では対応していないところであります。ただ、若い人が身近に鹿児島のさまざまな情報を知る機会が多くなることは、大切なことだと思います。</p> <p>現在の市民のひろばは、幅広い年代の方々に関心を持って頂き、様々な情報を知って頂くための内容となっておりますが、若い方々向けに特化した紙面づくりということは、ひとつの考えだと思いますので、参考にさせて頂きたいと思っておりますし、担当課へ検討できるかどうか、指示したいと思います。</p> <p>また、広報紙の作成に当たっては、若い方々にもっと関心を持っていただけるよう、大学生の編集サポーターによる紙面編集を行うなど工夫しているところですが、今後とも、幅広い世代に読んでいただけるよう、魅力的な広報紙づくりに取り組みたいと考えているところですので、その中で、本日はいただいたご提案も参考にさせて頂きたいと思っております。</p>	総務局	市民のひろばに掲載している市政情報は、若者を含む幅広い年代の方々にご覧いただきたいものであるため、まずは、若い方にも手にとってもらえるよう、大学生などの編集サポーターの協力や読者の意見をいただきながら、さらなる紙面の魅力向上に取り組んでいきたいと考えています。
4	鹿児島大学 男性	<p>④ 鹿児島市には、現在3か所で子ども食堂が開かれているようだが、本来その対象である経済的に余裕がない子どもの利用があまりないように思われる。</p> <p>現状でも子どものコミュニティが出来たり、食育という観点から決して悪くないと思うが、その点について市長はどのようにお考えか。</p>	<p>④ 現在、市内にある子ども食堂は3か所開かれており、市民の皆さまのボランティアによって運営されています。</p> <p>子ども食堂は、様々な事情を抱える子ども達の食を支え、居場所を提供することで、子どもたちの健全な成長を、地域のつながりの中で支援するものであり、その取り組みは全国各地で広がりを見せつつあります。</p> <p>本市でも、今後は子ども食堂が増えていくことが予想されます。子ども食堂の取組みは始まったばかりですが、経済的に余裕がない子どもだけではなく、親子でゆっくり食事をとったり、子ども達が地域の方と触れ合う場となることで、地域における温かい交流の場となることも期待しているところです。</p> <p>今後、市としても、しっかりと関心をもって、市として、どのように協力していけるか検討していきたいと考えています。</p>	健康福祉局	<p>子ども食堂は経済的に余裕がない子どもだけではなく、地域の子もたちにとって、子ども同士や支援の手を差し伸べる大人たちと繋がる「居場所」となる可能性を有しています。</p> <p>本市での子ども食堂は昨年6月以降に開催されたばかりであり、また今後も子ども食堂が増えていくことも予想されるため、定期的に意見交換を行いながら、課題の把握や必要な支援が受けられるよう関係部署へ繋ぐなど、側面的支援を行っているところです。運営団体が継続的に活動を展開できるよう、今後も活動支援に取り組んでまいります。</p>

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	鹿児島大学 女性	⑤ 経済的な事情で塾などに通っていない中学生を対象とした無料の学習支援が、鹿児島市の中央地区と谷山地区で開始されているが、これはとても素晴らしい取り組みだと思う。しかしながら、開催されている箇所が2か所のみであり、中学生が自力で来るには少し大変ではないか考える。 そこで、より中学生が参加しやすい学習会にするために、学習支援の会場を、もう少し中学生の移動手段に合わせた場所に変更してはどうだろうか。	⑤ 中学生への学習支援は、まだ始まったばかりですが、ボランティアとして携わって頂いているということで、ご協力頂き感謝申し上げます。 ご存じのようにこの学習会は様々な事情を持つ中学生が対象ということから、会場についてはプライバシーに配慮して非公表としていますが、会場数はまだ少ない状況にあります。 今後、このような環境を更に充実させていくためには、ボランティアの方の協力を得なければなりません、市としても対応策を考えていかなければならないと考えていますので、今いただいたご提案を踏まえて、検討していきたいと思っております。	健康福祉局	中学生への学習支援については、現在2カ所の開催となっておりますが、会場の確保などの課題があることから、状況をみながら開催場所等について今後さらに検討したいと考えています。
6	鹿児島大学 女性	⑥ 市のホームページから観光ボランティアの存在を知った。ボランティアガイドの募集は20歳以上とのことだが、鹿児島市が好きな小中学生・高校生にもチャンスを与えてはどうか。 学生が鹿児島市を勉強して知り、まちを好きになれば、若者の県外流出を防ぐことにつながると思うので、小中学生などがボランティアガイドを行う際は、大人のスタッフが同行してあげるなど、工夫して実施してはどうか。	⑥ 現在、観光ボランティアについては、20才以上で、原則として市内に居住されているか、通勤している方を対象に募集して、お願いしています。 また、学生観光ボランティアについては、市内に住むか通学する大学生や短大生などを対象に募集し、活動していただいております。 小中学生・高校生の観光ボランティアについては、活動日や現地までの交通手段、活動の方法など課題がありますが、小中学生のうちから郷土の歴史とか文化などについて学んでいただくとともに、多様な方とコミュニケーションを図ることは大変有意義なことだと思いますので、観光ボランティアに取り組んでいる団体へ、このことを伝えていきたいと思っております。	観光交流局	小中学生・高校生の観光ボランティアの活用について、今後、検討していきたいと考えています。
7	鹿児島大学 女性	⑦ 私は以前、海外から鹿児島市に来た学生に鹿児島市を案内したことある。学生からは、鹿児島市の景色や建物を見たいと言われたので、「かごりん」を利用しようとしたが、海外の携帯電話では登録ができなかった。 バスや市電よりゆっくりと観光できるのが「かごりん」のよさだと思うので、是非、外国の方でも利用できるようにしてほしい。	⑦ 現在、かごりんの運営にあたっては、各ポートにある端末機の案内表示を5か国語対応とし、ホームページも多言語で表示できるようにするなど、海外旅行者等についても利用促進を図っているところです。 お尋ねのありました海外の携帯電話を利用出来るようになるということは、技術的、費用的にも、なかなか難しいところであり、国内の携帯電話をお持ちでない方で、「かごりん」を利用できずに困っている方がいらっしゃる場合は、クレジットカードをお持ちであれば、ご利用できますので、そちらをご案内していただければと思います。 また、天文館か鹿児島中央駅のJTBにおいて、「かごりん専用ICカード」を発行することで、「かごりん」をご利用いただけますので、そちらも是非、ご利用いただければと思います。 今後も、環境にやさしい交通手段として、海外から来られた方々にも、わかりやすく、また利用しやすいものになるよう、さらに利便性の向上や、利用方法の周知等に努めてまいりたいと考えております。	環境局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	鹿児島大学 女性	<p>⑧ 現在、かごりんの利用更新をする際には現金、クレジットカード、電子マネーという方法があるが、電子マネーがnanacoやWAONIにしか対応しておらず、更新に時間がかかる。 特に、月初めの通勤・通学ラッシュ時に利用更新をする方が多く、長い列を作っている様子をよく見かける。 そこで、特にJRからの乗り継ぎが多い鹿児島中央駅のポートだけでも、定期券として使用する人の多いSUGOCAの電子マネー機能で支払いできるようにしてはどうだろうか。 そうすれば、利便性が高まり、より多くの方が継続的に利用するのではないかと考える。</p>	<p>⑧ 私自身、多くの方にかごりんを利用して欲しいと考えていますが、利便性が高くなければ多くの方に使って頂けないと思います。 今のかごりんの決済方法は、現金、クレジットカード、電子マネーによる方法があり、これは費用対効果などの面を踏まえた上で、設定されたものと考えていますが、中央駅などでは、ご提案のSUGOCAについては、利用されている方も多いため、活用できないか、担当部局に検討させてみたいと思います。 また、会員の更新の際に長い列ができることについては、更新は会員期間が切れる前にも行うことができますので、月初めの通勤時間帯に利用更新が集中しないように、HPなどで利用者の方々に周知を図っていきたく思います。</p>	環境局	<p>鹿児島中央駅東口ポートへのSUGOCAの決済機能追加には、端末機内のシステムの関係上、電子マネー決済と同時に導入することは難しく、導入には機器の購入費用のほか、手数料などの追加の費用負担が必要となることから、費用対効果の面から課題があると考えております。 ご指摘の通勤・通学時に列ができることについては、会員期限前に更新できることや、近くのキャンセビル前ポートをご案内するなど、より快適にご利用いただくための情報をホームページ等で積極的に発信していきたく考えています。</p>
9	鹿児島大学 男性	<p>⑨ 鹿児島市で利用できる「かごりん」は、市民や観光客にとって、利便性が高い、環境にも優しく街の回遊性にも役立っていると思うが、設置場所が少ないように感じる。 大学や与次郎に、かごりんが設置されれば利用者は増えると考えますが、市長はどのようにお考えか。</p>	<p>⑨ コミュニティサイクル「かごりん」は、温暖化対策の一環として、また、回遊性の向上や観光振興などを図るためのもので、現在21か所にサイクルポートを設置し、運用しています。 サイクルポートの増設につきましては、利用実績データやアンケート調査結果などを基に、費用対効果の面も含めて、検討しているところであります。 また、昨年11月に鹿児島大学に臨時ポートを設置し、併せてアンケート調査を実施いたしました。現在、結果を分析しているところでありますので、本日の皆さんからのご意見も踏まえながら、対応していきたく思います。</p>	環境局	<p>昨年11月に鹿児島大学で実施した臨時ポート設置時のアンケート調査では、「利用したい」との回答が多く、サイクルポートを設置した場合には一定の利用が見込めるものと考えています。 来年度から新たに、民間事業者等によるサイクルポートの設置に対して助成する制度を創設することとしています。 今後、鹿児島大学から応募があった場合には、適切に対応していきたく考えています。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	鹿児島大学 男性	<p>⑩ 「ラピカ」のチャージは、信号待ちの時などに、運転手に声を掛けてお願いをしているが、車内では、5千円札などの紙幣ではチャージできず、2,000円以上チャージする際は、時間が掛かったりしてしまうため、なかなかチャージするタイミングが難しい。</p> <p>そのため、バス停の近くに無人のチャージ機を設置したり、コンビニでSuicaがチャージ出来るように、ラピカもチャージが出来ないだろうか。</p>	<p>⑩ 高額紙幣しか持ち合わせがない方がチャージする際に、ご不便をおかけしていることは、私も聞いています。</p> <p>コンビニエンスストアなどにチャージ機器を新たに設置することや車内での高額紙幣による積み増しについては、ラピカにチャージする機器の設置や改修等に相当な経費を要することから、費用対効果を考慮しますと、なかなか難しい面があります。</p> <p>現在市内には、5箇所の乗車券発売所と9か所の自動積増機がありますが、設置場所等につきましては、更に広報・周知してまいりたいと考えていますので、そちらを利用して頂ければと思います。</p> <p>なお、ICカードのチャージ機器については、各バス事業者の判断で設置しておりますので、ご提案の内容については、民間バス事業者へもお伝えしたいと思います。</p>	企画財政局 交通局	市長回答のとおり
11	鹿児島大学 女性	<p>⑪ 桜島地域に、かごりんは設置していないとのことだが、今後、桜島地域に設置する予定はないのか。</p> <p>潮風を感じながら、体を動かすのはとても楽しいと思う。</p> <p>例えば、観光客のサイクリング向けに自転車をロードバイクの仕様に変更して、設置することなどは考えられないか。</p>	<p>⑪ かごりんのサイクルポートにつきましては、市民の皆さんへのニーズ調査等を行いながら、設置箇所などの検討を行っていますが、かごりんを桜島地域で実施するとした場合は、施設や観光スポット間の距離が離れているため、効果的なサイクルポートの配置が難しいことや、地形的にもアップダウンが多く住民の移動手段として日常的な利用が見込めないことなどの課題があるところ です。</p> <p>また、現在、かごりんは同一の仕様で配置をしていますが、特定の地域に異なる仕様のかごりんを導入することに対して、費用対効果の面からも難しい面があるのではないかと考えています。</p> <p>なお、桜島地域においては、観光客向けということでは、すでに、民間でレンタサイクルを実施していただいていますので、現段階では、そちらを利用していただきたいと考えています。</p>	環境局	市長回答のとおり

# 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	鹿児島大学 男性	<p>⑪ 私自身、市電や市バスをよく利用しているが、待ち時間に時間を持て余すことがある。そのため、電停を市情報や観光情報を提供する場所として活用してはどうだろうか。</p> <p>具体的には、そこで音声での観光案内も取り入れると、自然に耳に入るため市電利用者の興味を引きやすいのではないかな。</p> <p>また、音声での案内は、ほかの広報物とは異なり雨に濡れる心配もなく、目が不自由な方への広報ができるなどの効果が期待できる。</p>	<p>⑪ 市民や本市を訪れた皆さんへ、市の情報を、より効果的・効率的に伝えることは大切なことであり、公共交通機関である市電の電停等を活用した広報という発想は、素晴らしいアイデアだと思います。</p> <p>現在、利用者が多く、比較的設置スペースに余裕のある、鹿児島中央駅前電停と谷山電停に、周辺地図や観光地情報等をご覧いただける、路線案内図を設置しております。</p> <p>また、電車運行管理システムにおきましては、運行に必要な情報のテロップを流すほか、電車到着前のアナウンス等を行っておりますが、観光案内のアナウンス等につきましても効果があると思われま。今後は、利用される方のニーズ等を把握しながら検討していきたいと考えておりますので、ご提案の内容を交通局へ伝えたいと思います。</p>	交通局	<p>停留場での観光案内のアナウンス等につきましては、現行の電車運行管理システムで案内できる枠が限られていることから難しい面もございますが、利用される方のニーズ等を把握し、関係部局の意見も踏まえつつ検討してまいりたいと考えております。</p>
13	鹿児島大学 女性	<p>⑪ 私は外出の際、よく市電を使っているが、時間帯によっては乗りにくいときがある。特に朝の通勤・通学ラッシュの時間帯は大変人が混雑してとても、乗りにくいと感している。</p> <p>そこで、混雑を緩和するために、ラッシュの時間帯だけでも、市電を二両や三両に増やしたり、増便することは出来ないだろうか。</p> <p>または、折り畳み式の座席を導入することはできないか。そうすることで、より多くの方が乗ることができ、乗り降りもスムーズになると考えるが、市長はどのようにお考えか。</p>	<p>⑪ 日頃から、市電・市バスをご利用頂いているということで、大変嬉しく思います。</p> <p>ラッシュ時間帯の増便については、昨年11月にダイヤ改正した際、全体の車両数を1両増やしており、必要な電気の供給能力や保有車両数の関係から、現段階でこれ以上増やすことはなかなか難しい状況であります。電車の連結についても、良いアイデアですが、様々な課題を解決する必要があります。いずれにしましても、乗れないということがないように、しっかりと対応してまいりたいと考えています。</p> <p>また、車内をスムーズに移動できるように折りたたみイスについてのご提言をいただきましたが、以前、低床電車の一部の座席で導入していたことがありますが、折り畳んでも一定の幅があるため、お客様から、より多くの方が乗れるようにして欲しいとの要望が多く寄せられて撤去した経緯があることから、現時点で再導入は考えていないところです。</p> <p>現在、ラッシュ時には、できるだけ定員の多い電車を運行させるとともに、等間隔運転に努め、できるだけ各電車に均等に乗車していただくことで混雑緩和を図っているところでありますが、少しでも快適に通勤、通学していただくために、今後とも混雑緩和策を検討させたいと思います。</p>	交通局	<p>朝のラッシュ時のダイヤは、現在でも、最も密度の高い脇田～郡元間では、鹿児島駅前行きと中央駅方面を経由する電車を合わせると、既に1～3分間隔で運行しており、電停の長さや保有車両数、給電能力等の関係から(踏切の遮断時間がさらに長くなり、交通渋滞がますます悪化することへの対策も必要となります。)これ以上の増便することはできない状況です。</p> <p>また、ご提案いただいたように車両を連結して走行するには、JR等の列車のような構造(連結した車両間を行き来ができ、連結した車両すべてのブレーキを同時に掛けられるなど)にしなくてはならず、本市の電車の場合、故障等の場合を除き、連結して走行することは、軌道運転規則により禁じられています。</p> <p>このように、直ちに抜本的な混雑解消策を講じることは困難な状況ですが、今後とも、ラッシュ時には、乗車定員の多い車両(既存の超低床電車ユートラムとほぼ同じ長さで、座席数8、乗車定員10名増の新型ユートラムⅢ2両を3月末に導入予定)を運用するとともに、停車時間を短縮するために、運転士が適切な案内でスムーズな乗降を促進したり、お客様の動向を注視しながら、必要に応じてダイヤ改正を行うなど、できる限り混雑緩和に努めてまいります。</p>

## 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成29年2月2日(木)11:00~12:00  
場所:鹿児島大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
14	鹿児島大学 女性	<p>⑪ まちづくり論を受講する中で、鹿児島市の交通の課題について話し合い、出た意見だが、市電の予告灯のように市営バスにもバスの接近情報等がわかるロケーションシステムを導入することは出来ないだろうか。</p> <p>福岡県の天神のバスなどには、バス停で、事前にどれ位待てば、バスが来るのか分かるようになっているため、とても便利に思える。私も市バスをよく利用するが、あと何分で来るか分からないために、徒歩や別の交通手段に変更することもあるので、そのようなシステムがあれば、利便性が高まり、使いやすくなるのではないだろうか。</p>	<p>⑪ 国際観光都市である本市には、海外や県内外から多くの観光客が訪れており、気軽に街中を移動できるような交通環境の充実は大変重要な課題です。</p> <p>そのような中、本市においては、クルマに過度に依存しない、公共交通を軸とした交通体系を構築するため、平成22年3月に「鹿児島市公共交通ビジョン」を策定し、関係機関等と協力しながら各種施策に取り組んでいるところです。</p> <p>ご提案のバスロケーションシステムについては、同ビジョンの推進施策の1つとして位置づけているところです。同システムの導入については、利便性の向上が期待される一方で、市交通局においては、厳しい経営状況が続く中で、その導入に一定の費用がかかることや、ご指摘のあった路線を競合する民間バス事業者と連携して取り組んだ方がより高い効果が期待できることなどにより、現時点では、その導入に至っていないところですが、費用対効果や民間の方々から協力などを頂きながら、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>	企画財政局 交通局	市長回答のとおり